

# 子どもの貧困に立ち向かう 市民活動応援助成

(第3期・2024年度)

## 地域のまなび場支援

### 助成団体紹介



公益財団法人

かながわ生き生き市民基金

Kanagawa Lively Citizens Fund

## 目次

第3期助成 選考講評	1
＜助成団体紹介＞	
特定非営利活動法人 ハンブーまなび塾	2
たすけあい	2
長後寺子屋ぼかぼか	3
相模原みのり塾	3
たすき塾	4
ひばり野のなかま達	4
特定非営利活動法人 デジタルコンテンツ研究会	5
無料学習支援 学び場「ここから」	5
TIEトマトマの会	6
特定非営利活動法人 さがみはら子どもの居場所サミット	6
アクティブ・ママ	7
NPO法人 街の家族	7
特定非営利活動法人 スマイルパートナーズ	8
特定非営利活動法人 メダカのお弁当	8
特定非営利活動法人 太陽の村	9
特定非営利活動法人 育ち合い広場・てとてとて	9

## かながわ生き生き市民基金

### ◆ 私たちのミッション

＜投資して利潤を稼ぐことが経済＞という考えが現代社会に蔓延しています。人々の社会生活は「経済成長」に付き従うべきだという主張につながります。

しかし一方で、豊かな生活をつくるのが経済の目的で、お金はそのための手段であるという考え方があります。人と人との関係の中に「**温かいお金**」を循環させようという主張です。

私たちの社会は、格差・貧困が野放図にすすみ、個人の権利や尊厳が、労働・教育・環境・平和など生活の中心分野で損なわれつつあります。女性や若者、子どもや障がいを持つ人々などが生きにくい社会になっています。

「かながわ生き生き市民基金」は、ひとりでは支えきれない地域社会の課題の解決を、お互い様から始め、更に相互扶助に留めず、人・団体・活動を、お金や情報の循環でつなぎ、**市民が持つ知恵・労力・時間・いくばくかのお金などの社会資源を拠出し合い、市民が共に力を合わせ、自立した「地域市民社会」をめざします。**

### ◆ 私たちの活動

福祉たすけあい 助成 (通常型)	福祉たすけあい 助成 (スタート助成)	子どもの貧困に立ち 向かう市民活動応援 助成	市民活動応援 フォーラム
ユーコープ子ども 応援助成	JA横浜子どもの 未来支援助成	遺贈・生前贈与相談 /受付	市民活動応援講座

# 子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援助成 第3期 選考講評

選考委員長 手塚 明美

(一社) ソーシャルコーディネートかながわ理事長  
(公財) かながわ生き生き市民基金理事

かながわ生き生き市民基金では、格差・貧困・孤立等により

子どもたちの学びの場や機会が制限されることのないよう

に、無料塾、フリースクールなどの学習支援活動を行う団

体を対象に「地域の学び場支援助成」という仕組みを創り、

今回3回目の助成となりました。申請は16件、1,514,880円

でした。申請された活動は、それぞれの活動エリアや支援

対象に向け、課題の抽出が的確にされており、効果の見込める活動として、評価の甲乙

がつけがたい状況でした。しかしながら、原資とのバランスもあり、全額助成とはならず、

15団体の皆様は一部助成となりました。本助成は、当基金の独自プログラムで、当

プログラムへの直接の寄付で成立しています。今まで応援していただいた皆様、また新

たにご興味を持っていただいた皆様のご支援を引き続きお待ちしております。



## 選考委員（敬称略）

委員長	手塚 明美	一般社団法人ソーシャルコーディネート神奈川 理事長
副委員長	矢野 克子	生活クラブ生活協同組合 副理事長
	田中 夏子	イタリア協同組合研究者/ 農業者
	川岸 卓哉	弁護士/（特非）原発ゼロ市民共同かわさき発電所 理事長
	友澤 ゆみ子	（特非）ピッピ・親子サポートネット 理事長
	高村 文子	横浜YMCA 国際・地域事業担当チーフディレクター
	伊藤 保子	元NPO法人さくらんぼ 理事長
	斎藤 輝美	さがみ生活クラブ生協

## 貧困の連鎖を断ち切り希望ある未来に向けて～教育の格差に立ち向かう～

子どもの貧困はさまざまな分野で影響があります。

内閣府が公表した「令和3年子供の生活状況調査」によると、親の学歴別貧困家庭の割合では、中卒が40.6%と最も高く、大卒の4.6%の約9倍の高さとなっています。

世代を超えた貧困の連鎖とならないよう、どんな場合（ひとり親世帯、外国にルーツのある人等）でも、子どもの学ぶ機会が安定してあることはとても重要です。

2022年・2023年・2024年度は、みなさまのご寄付で「子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援基金」により、塾に行けない子どもたちを無料塾・フリースクールなどの学習支援で支える市民活動に助成しました。

特定非営利活動法人 バンブーまなび塾  
(横浜市港北区)  
理事長 竹内直美  
助成金額 80,000円

★助成した事業・活動

困難を抱える児童、青少年の無料学習支援

★団体紹介

設立年月

2015年4月



団体の目的・活動内容

不登校ひきこもり、障害、貧困等困難を抱えた子ども若者に対し学習支援、居場所、体験格差支援等の事業を通し自己肯定感を育て、将来の進路に希望を持てる支援をする。

団体情報

住所：横浜市港北区大曽根2-34-26

TEL：045-541-3897

Mail：bamboombj@gmail.com

URL：bamboombj.jimdo.com



助成をうけて…の思い・メッセージ

当法人は子どもの貧困という大きな社会課題に対し身近な地域から地味な活動ですができる事をやって行きたいと思っています。貧困と学力格差、体験格差の関係は知られていますが、学力がないため、体験が少なく行動に自信が持てないという自己効力感の育っていない子どもたちに小学校レベルから、高校、大学受験レベルの学習支援、体験支援として理科実験教室、星を観る会といった集団行動、コンサート、見学、野菜栽培と調理、物作り等、体験から多くの事を学び将来に希望を持てるように支援をしています。その活動に助成金を感謝して有効に使わせていただきます。



たすけあい(小田原市)

代表 太田 実

助成金額 60,000円

★助成した事業・活動

地域で孤立している子どもたちを対象に無料学習支援

★団体紹介

設立年月

2019年4月



団体の目的・活動内容

地域で孤立している子どもたちを対象に、0円ショップで地域の民生委員や赤十字団員や自治会関係者を巻き込み、無料の学習の場を提供し学習支援を行う。この地域では無料の学習支援は行っていないのでチャレンジして行くことにより、課題である子どもたちの貧困、孤立を防止する。

団体情報

住所：小田原市酒匂4-5-40

TEL：080-6587-3003

FAX：0465-48-2952

Mail：ootam242@gmail.com

URL：http://tasukeai.starfree.jp/



助成をうけて…の思い・メッセージ

助成をしていただき、誠にありがとうございます。

助成を受けて、ひとり親家庭などの生活困窮者の子どもが孤独や孤立に陥ることのないように、立ち向かって行きたいと思っております。子どもの居場所を作り、学習する場を提供して、孤立化を防止してどのような子どもであっても生き生きと生活して行けるように、尽力してまいります。微力ですが継続してゆきたいと考えております。



## 長後寺子屋ぽかぽか（藤沢市）

代表 荻野 直美  
助成金額 80,000円

### ★助成した事業・活動

経済的に困難な家庭や不登校のお子さんの学習支援、心のケアの支援



### ★団体紹介

設立年月  
2023年12月

### 団体の目的・活動内容

教育格差があると言われる現在、経済的に厳しい環境下にあるお子さん、不登校のお子さんの学習支援 心のケアの支援を行っています。無料で行うことにより地域のどこにも行くことができないお子さんの居場所となるよう活動しています。

### 団体情報

住所：藤沢市長後838-5  
TEL：0466-46-3398  
Mail：naomi.mi727@gmail.com



### 助成を受けて…の思い・メッセージ

この度は助成金をありがとうございました。私たちは学校に行けない子や経済的に厳しい環境下の子供たちの学習サポートや心のケア 自立していく力をつけることなどに重きを置いて活動しています。一人一人と丁寧にマンツーマンで向かい合い、今心にある不安や悩みなどを聞き出しながら自己肯定感が持てるようにみんなで支えています。一人一人とても大切な存在だというメッセージを大人はいつも発信し安心感が伝わるように心がけています。これからの日本を担っていく子どもたちが親の貧困や、学校へ行けないだけのことで劣等感を持つような環境はおかしいのです。

私たちの活動を支持していただき、施設の賃貸やパソコンなどに使わせていただけること、大変にありがたく、これからも私たちは子供のためにますます頑張ろうと決意しています。



## 相模原みのり塾（相模原市緑区）

代表 小布施実穂子  
助成金額 35,000円

### ★助成した事業・活動

中学生対象の無料学習サポート事業

### ★団体紹介

設立年月  
2016年5月

### 団体の目的・活動内容

目的：全ての子どもたちが家庭環境に左右されず、学ぶ機会を手に出る社会を作る

活動内容：

- (1) 勉強したい中学生に週1回の1対1個別授業
- (2) テスト前自習室、受験生向けの夏期冬期講習
- (3) 答えのない学習・創造学習（体験）の実施
- (4) 地域で子どもたちの学びを応援する仕組み「さがみっこ学び応援隊」を主催

### 団体情報

住所：相模原市中央区星が丘4-10-5  
TEL：050-5307-2233  
Mail：sagamiharaminori@gmail.com  
URL：https://sagamihara-minori.jimdofree.com/



### 助成を受けて…の思い・メッセージ

相模原みのり塾は、今年で活動9年目となりました。置かれている環境に関わらず子どもたちの「学びたい」が実現できる場所づくりに、今も奔走しています。

さまざまな無料塾や学習支援団体があるなかで、当塾の特徴は「高校受験」まで伴走していく「塾」であること。経済的に私学への進学が許されないからこそ、県立高校合格に向けて、日々いっしょに頑張っています。学習面で大切にしているのは、他人と比較しないこと。学力の高い高校に行くことが目標じゃない。その生徒自身が、頑張っていることを認め、さらに前に進んでいきたいという思いを共有していくこと、それが私たちの役割です。昨年「創造学習」という体験活動の時間を作り、週に1回さまざまな体験を提供。答えや正解のないことをみんなで考えたり、協力して何かを作ったり。地域の企業・団体から出前講座をやってもらい、地域とのつながり作りもすすめています。



たすき塾 (横須賀市)  
代表 高島 智子  
助成金額 80,000円

★助成した事業・活動

小矢部町とその近隣の子どもたちの無料学習支援



★団体紹介

設立年月

2011年2月

団体の目的・活動内容

学習塾に通っていない、又通えない小学校5年生～中学3年生までの子どもを対象に月4回、講師6人ボランティアの学生2人で学習支援を行っている。

団体情報

住所：横須賀市小矢部1-19-15  
TEL：046-837-4345  
Mail：taka110105jcom.home.ne.jp



助成をうけて...の思い・メッセージ

この度は「たすき塾」への助成を頂きまして、ありがとうございました。塾に通っていない子どもを対象に開設して13年、生徒3人、講師4人から始まり現在は、生徒21人、講師8人(大学生ボランティア含む)の大所帯となりました。特に数学、英語に力を入れ、受験のまじかな生徒にはリスニングも取り入れています。遠くから来ている講師や、大学生に交通費も渡すことができない状態が長く続いていましたが、今回の助成金で交通費も支給できますし、講師の方々にもわずかですがお礼の気持ちを渡すことができます。ボランティアとして活動しているのは重々承知で来てくださっている地域の方々にもとても励みになると思います。そして地域の子どもを、地域の大人が見守ることによって学びの和が広がり、又子ども達に返ってくるように有効に使わせていただきます。



ひばり野のなかま達  
(平塚市)

代表 大畑 正子  
助成金額 80,000円

★助成した事業・活動

二か所の拠点での学習支援

★団体紹介

設立年月

2019年4月



団体の目的・活動内容

未来ある子ども達の生活環境を少しでも良くするための一助が目的。介護予防、食育も含めて、子ども食堂、学習支援、居場所、駄菓子屋、講演活動

団体情報

住所：平塚市南豊田6-5  
TEL：080-1055-9303  
Mail：masako@hana-kikaku.co

助成をうけて...の思い・メッセージ

物価高騰により、学習支援等で使用する、折り紙、ドリル、モール、シール、オヤツ等々が必要量手に入れる事が迷う状況であった。子ども食堂でも栄養価の高い食材の調達も難しい状況も生じた。それでも、子ども達の笑顔やエネルギーに触発されたり、様々な家庭への支援は相談等も含めそれぞれの関係機関との連携も充実出来、活動の重要性を実感している。そのような状況下で市民活動応援助成により活動のとても幅が大きく広がり、とても感謝している。有難うございました。



**特定非営利活動法人デジタルコンテンツ研究会**  
(相模原市中央区)  
理事長 近久 誠  
助成金額 80,000円

★助成した事業・活動

中学卒業者のための居場所事業

★団体紹介

設立年月

2008年6月



団体の目的・活動内容

- ・学校現場で無料使えるデジタルコンテンツを編集し、全国の小中高校に対し、ホームページを使って提供
- ・障害者に対するパソコン技術教育と就職支援
- ・経済的困窮家庭及び不登校の小中学生対象に無料学習塾「さがみはら みらい塾」を開講、子どもを対象に食料支援として昼食の無償提供

団体情報

住所：相模原市中央区矢部4-4-9

TEL：042-711-7454

Mail：m-mail@ss-dc.com

URL：https://www.ss-dc.com

**助成を受けて・・・の思い・メッセージ**

経済的貧困家庭や一人親家庭の小中学生対象の無料学習支援と昼食支援、食品の無償提供を行っています。親御さんたちも頑張って働いて子育てしていますが、狭い住居環境の中で複数の子どもを養育しているため、なかなか勉強習慣が身についていない子どもが多く、毎週土曜日開催の学習支援でようやく基礎学力の底上げを行っている現状があります。無料の昼食支援やパンの提供を楽しみに来ている子どもも多く見受けられます。働きすぎで病に倒れた親もあり、助成を受け食料支援ができており大変感謝しています。



**無料学習支援 学び場「ここから」**

(相模原市南区)

代表 小崎 高義

助成金額 80,000円

★助成した事業・活動

無料学習支援とここからカフェ

★団体紹介

設立年月

2022年4月

団体の目的・活動内容

小中学生が学ぶ楽しさを体験する学びの場です。経済的理由で塾に通えないお子さん、勉強が苦手なお子さん、発達がゆっくりなお子さん、集団の場に馴染めないなど、それぞれの個性に合わせて、1人1人のペースに寄り添いながら、わかった！できた！をひとつずつ共に体験しています。2023年10月から、カフェ（食事支援）や食材配布も行っています。

団体情報

住所：相模原市南区古淵5-10-11

クロスロードバプテスト教会内

TEL：090-6141-7148

Mail：manabi.coco@gmail.com

URL：manabi-coco (peraichi.com)

**助成を受けて・・・の思い・メッセージ**

この度は助成をいただき、ありがとうございます。学び場「ここから」は、小中学生が無料で利用できる学びの場です。学生や地域のボランティアが学習のサポートをしています。勉強が苦手なお子さん、発達がゆっくりなお子さん、集団の場に馴染めないなど、それぞれの個性に合わせて、1人1人のペースに寄り添いながら、わかった！できた！をひとつずつ共に体験しています。設立当初は月に2回の開催でしたが、現在は3～4回の学習支援に加え、月に1度のカフェ（食事支援）や食材支援も行っています。子どもたちやご家族、地域の方々みなさんが心満たされるを通して、未来の可能性を広げていけるような居場所を継続していくために大切にに使わせていただきます。



TIEトマトマの会（横浜市神奈川区）  
代表 山縣 紀子  
助成金額 70,000円

★助成した事業・活動

外国にルーツを持つ子どもたちの学習支援



★団体紹介  
設立年月

2009年4月

団体の目的・活動内容

外国にルーツを持つ中高生を中心に日本語、教科の学習補助を基本的に個別対応で行う。また彼らに安心とそれなりの意欲を持てるような居場所としての機能も心掛け学習者、ボランティア間の交流を大事にする。

団体情報

住所：茅ヶ崎市（非公開）

Mail：noriko-noko@ozzio.jp



助成を受けて…の思い・メッセージ

こうした活動にどうしても必要になる資金を助成してくださるのはとても有難いことです。コロナ禍で次第に少なくなっていた学習者がまたもとに戻ってきたようです。それも来日したばかりという日本語指導希望の参加者がこのところ増してきたのは一つに公的な受け入れが厳しい状況があるからのようです。これは国や行政の課題として、当会では日本語や学習のサポート支援を通して彼らが安心して意欲や元気の出る場にと、丸ごとボランティアの支援者たちが頑張っています。



特定非営利活動法人  
さがみはら子どもの居場所サミット  
（相模原市南区） 代表 佐竹 輝子  
助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

学習サポートと子ども食堂を融合した  
総合的な居場所づくり事業

★団体紹介

設立年月

2023年1月

団体の目的・活動内容

地域の子どもたちが安心して過ごせる居場所を提供する団体や個人との連携強化や支援を目的に始めました。背景には、子ども食堂や学習支援を通じて地域全体で子どもを支えたいという強い想いがあります。地域住民、教育関係者、NPO団体など多様な立場の人々が協力し合い、持続可能な子育て環境を作るためのネットワークを構築する必要性が高まり、それがサミット立ち上げにつながりました。

団体情報

住所：相模原市南区相武台団地2-3-5

TEL： 090-7940-8529（代表：佐竹）

TEL： 080-5421-4605（担当：鈴木）

Mail： s.teruko.1951.aug.22@gmail.com

URL： <https://s-summit.org/>



助成を受けて…の思い・メッセージ

「子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援助成第3期」に採択されたことに、心から感謝申し上げます。貧困の中で育つ子どもたちは、日々の生活に困難を抱え、未来への希望を見出すことが難しい状況にあります。しかし、地域の温かな支援と連携によって、子どもたちが安心して過ごせる居場所を提供することで、少しでも彼らの未来に希望を持たせたいと考えています。

今回の助成を受け、私たちはさらに多くの子どもたちに支援の手を差し伸べ、必要な食事や学び、心のケアを届けていきます。この活動を通じて、子どもたちが将来に向けて前向きな一歩を踏み出せるよう、地域社会全体で支え合う風土を築いていきたいと願っています。助成に感謝しつつ、子どもたちの笑顔のためにこれからも尽力してまいります。



アクティヴ・ママ(座間市)  
代表 眞島 呂枝  
助成金額 65,000円

★助成した事業・活動

座間市内の小・中学生を対象とした  
学習支援、居場所事業



★団体紹介

設立年月

2000年2月

団体の目的・活動内容

市内の子どもたちが地域との関わりの中で元気に育って行くことを目指し、子育てサロン、国際交流、子ども食堂、学習支援などを行っている。

団体情報

住所：座間市入谷西2-20-15「ひだまりの家」

Mail：active\_mama\_zama@yahoo.co.jp

URL：https://active-mama-zama.jimdofree.com/

助成をうけて…の思い・メッセージ

この度は助成団体に採択いただきありがとうございました。私たちの行っている学習支援の教室には外国籍の子、いわゆる学習障がいや発達障がいの子など、さまざまな子どもが通っています。子どもの特性に合わせた学習をすすめていくため、今回の助成金を活用させていただきます。また、教室が子どもたちにとって居場所とじてもらえる場所になることを目指し、ボランティアの皆さんとともに、先生と生徒の関係ではなく「近所の大人と子ども」の横並びの関係を大切にしています。1人ひとりのニーズに合った学習を支えるだけでなく、長期休みには宗教にも配慮した昼食をみんなで食べたり、行事を楽しんだりとお楽しみの要素も含め、学年や国籍を超えた交流、また大人との関係を築いています。何かあれば頼ってもらえる存在になることを目指し、地域の子も達が笑顔で過ごせるように見守っていきます。



NPO法人 街の家族（横浜市青葉区）  
代表 押久保 美佐子  
助成金額 80,000円

★助成した事業・活動

～フリースクールWA・Lau 開校

★団体紹介

設立年月

2020年8月



団体の目的・活動内容

「どんな時でもつながりあえる」をモットーに、空き家になった一軒家をお借りして多世代交流コミュニティハウスを運営。妊娠期の家族、子育て世帯、介護世帯、外国籍世帯、地域の中で誰一人として孤立しないよう、地域のニーズを聞きながら「みんなの居場所」を作ってきました。

団体情報

住所：横浜市青葉区奈良町1566-24

TEL：070-4400-1306

Mail：machikazoku@yahoo.co.jp

URL：http://www.machinokazoku.info

助成をうけて…の思い・メッセージ

この度は私達団体の活動に助成をいただき、まことにありがとうございました。多世代交流を軸とした街の家族ですが、最近は学校に行けない子ども達、その家族が訪れることが増えました。その中で、不登校、また学校という環境そのものが合わない子ども達が、地域の中で学校以外に学べる場所が必要だと感じるようになりました。そこで今春より元不登校児の親や元教員が集まり、地域の学童クラブの場所をお借りして、フリースクール事業を始めることになりました。学校に行けなくても地域の大人たちがあなたたちを見守っているよ、ありのままのあなたでいられる場所があるよ、そんな思いで子ども達と関わるようにしています。全ての子ども達が誰一人取り残されることのないよう、学校も行政も民間団体も手を取り合って、地域みんなで子ども達の成長を応援していきたいです。いただいた助成金は子ども達の活動のために大切に活用させていただきます！



特定非営利活動法人スマイルパートナーズ  
(横須賀市)  
代表理事 久保田 康雄  
助成金額 80,000円

★助成した事業・活動  
無料学習支援活動



★団体紹介  
設立年月

2005年8月

団体の目的・活動内容

・無料学習支援  
高齢者デイサービス施設「スマイル池上」を無償提供を受けて、地域で学習塾に通うことができない小中学生を対象に学習支援を行う。生徒にはおやつを提供している。

団体情報

住所：横須賀市小川町14-1  
TEL：046-820-1211  
URL：kayama\_j@smile-kaigo.co.jp



助成を受けて…の思い・メッセージ

親の経済事情で子ども達の学力に差ができることが広がる昨今の社会において、貧困の連鎖をとめたいという思いで、経済的理由で学習塾に通うことができない子ども達に無料の学習機会を提供しております。

会場は営業後の高齢者デイサービスを利用、講師には交通費のみでご協力いただいております。昨今の物価上昇などの影響もあり、利用希望者はとも増えています。当初は中学生のみとしていましたが、小学生へも対象を拡大して提供しています。然し乍ら増大するニーズに応える講師の方々に支払う交通費も増えており、今回の助成を大変ありがたく活用させていただきます。何より大切なことは継続することに大きな支えとなっており、大変感謝しております。



特定非営利活動法人 メダカのお弁当  
(相模原市中央区)  
理事長 鈴木 雄大  
助成金額 80,000円

★助成した事業・活動

地域の子供たちの無料学習支援

★団体紹介

設立年月 2022年11月

団体の目的・活動内容

食と学習の支援を通じ、あたたかくやさしい社会の形成を目指しています。食事食材支援では平日毎朝7時より子育て世帯を対象に手作りのお弁当を無償で提供しています。さらに、月に一度のフードパントリーや対面型こども食堂、地域飲食店と提携したドコデモこども食堂などを開催し、ご家庭と子ども達の「いま」を応援しています。また、子ども達の「みらい」「これから」を支える無料学習支援(無料塾)「メダカの学校」を県内6教室を展開しています。



団体情報

住所：相模原市中央区相模原2-12-21  
Mail：main@keisho.sakura.ne.jp  
URL：https://medaka-no-gakko.org/ (メダカの学校)  
https://medakabento.com/ (メダカのお弁当)  
X：https://x.com/medakano\_obento  
Instagram：  
https://www.instagram.com/medaka\_no\_obento/

助成を受けて…の思い・メッセージ

子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援助成の第3期に採択されたこと、心より感謝申し上げます。この助成により、経済的に困難を抱える子どもたちへさらに充実した学習支援が可能となります。食事食材支援がご家庭の「いま」を支えるものなら、学習支援は子どもたちの「みらい」「これから」を応援するものです。両者が揃うことで、子どもたちは前向きに歩いていけると信じています。10/20(月)には第6教室「相模湖教室」が開校し、来年度には第7教室「藤野教室」も開校予定です。特に人口減少が進む地域では、有料塾が進出しにくく教育機会が限られていますが、この助成のおかげでそうした地域の子どもたちにも光が届けられます。今後は人口減少地域での学習支援に力を入れていきます。応援、よろしく願いいたします。



特定非営利活動法人 太陽の村  
 (相模原市中央区)  
 理事長 吉川 さやか  
 助成金額 80,000円

★助成した事業・活動

生活困窮家庭の児童、生徒の学習支援



★団体紹介

設立年月

2010年8月

団体の目的・活動内容

太陽の村では「すべての子どもに笑顔を！」をモットーに、「教え込まない気付きの教育」やインクルージョンの感覚を活かした活動を行っています。また、放課後等デイサービスの枠を利用する事もでき、貧困による子どもにも居場所を提供できるように努めています。将来、社会に貢献できる人を、私たちだけでなく学校・家庭・地域の協働のもとで育てています。

団体情報

住所：相模原市中央区中央2-7-9-3F  
 TEL：042-707-0160  
 Mail：office@taiyounomura.com  
 URL：https://taiyounomura.com

助成を受けて…の思い・メッセージ

NPO法人太陽の村では「すべての子どもに笑を！」をモットーに不登校状態にある児童の居場所としてフリースクール太陽の学園を運営しています。太陽の学園を利用していただいている児童は基本的に不登校の状況にある児童です。不登校であるがゆえに通学している児童であれば普通に行く修学旅行や遠足などの行事に参加できない児童ばかりです。太陽の学園は彼らに通学していた児童と同様の思い出を残してもらうべく他のフリースクールではあまり聞かれない修学旅行を実施しています。

しかしながら利用児童の中に経済的理由から参加できない児童がいることに職員一同心を痛めていたところでした。今回は助成をいただきましたおかげで費用を抑えることが出来た結果9名の児童が参加してくれました。本当にありがとうございます。これからも児童に向けた支援を続けてまいります。



特定非営利活動法人育ち合い広場・てとてとて  
 (藤沢市)

理事長 小川 智子  
 助成金額 70,000円

★助成した事業・活動

「自由な学び場まなびこ」事業

★団体紹介

設立年月

2017年7月

2022年5月 (法人設立)



団体の目的・活動内容

大人も子どもも育ち合おう。子どもとの暮らしと向き合い、地域の中で学び合い育ち合える場づくりを目指す。安心して通える場、人生を豊かに生きていくための学び合い育ち合いの場の構築および運営のための事業を行い、まちづくりの推進・格差是正に寄与することを目的とする。

団体情報

住所：藤沢市弥勒寺 1-22-21  
 TEL：090-2740-8160  
 FAX：0466-62-3373  
 Mail：tetotetote2017@gmail.com  
 URL：  
 https://tetotetote2017.wixsite.com/tetotetote



助成を受けて…の思い・メッセージ

「俺はここへ学びに来ているんだ！」当時小学1年生だった彼がこの場へ通い始めて3カ月頃のこの言葉を今も時折思い出します。入学前、地域の小学校へ通うのを心待ちにしていた前向きな彼が、わずか半年後のある日「俺は皆の邪魔者なんだ」と呟き、学校へ行かなくなったそうです。じっと座っていることが苦手で度々立ち歩き、先生から叱られることも多く、教室から脱走し、友達とのトラブルも増えていったとのこと。学習が苦手なわけではなく、むしろ知的な好奇心旺盛で、もっともっと学びたい！の気持ちが溢れ、先述の言葉となり私たちへ向けられました。当たり前にも学ぶ権利を保障し、「学校へ行ってもなくても大丈夫。俺はここで学んでいるんだ。」と、胸を張って言ってもらえる場でありたい。その思いから、様々な講師の方にお力添えをいただき、学びの充実を図っています。皆様のご支援が、子どもたちの自信と希望に繋がっています。心より感謝申し上げます。





## 「子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援基金」への寄付をお願いします。

### 日本における子どもの貧困

かつては総中流社会と云われた日本社会ですが、この20年余りの間に、格差・貧困が加速度的に広がっています。2023年厚生労働省「国民生活基礎調査」では、2021年度の子どもの相対的貧困率（所得水準などに照らして貧困の状態にある18歳未満の割合）は、11.5%となり8.7人に1人が貧困状態にあります。一方、ひとり親世帯の貧困率は、依然として半数近くが貧困状態にある高水準となっています。日本における子どもの貧困の特徴は、ひとり親家庭の半数が貧困状態にあることが挙げられます。ひとり親家庭は圧倒的に母子家庭が多いため、子育てをしながらでは正規雇用に就きにくく、安定した収入を得られないことが影響しています。食支援・無料学習支援など、子どもの貧困という課題に取り組む活動を支援する基金です。

#### ● 基金へご寄付をお願いします。

子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援基金は、皆様の寄付で成り立つ助成です。第4期の実施のために、寄付を募集しています。

#### ● 基金のしくみ

- 1口1万円
- 基金への寄付が100万円を超えた段階で、公募します。  
2022年(1期)・2023年(2期)・2024年(3期)に実施しました。

2024年は  
県内で無料学習・フリースクールなどの支援を行う16団体に  
1,200,000円を助成

#### ● お申込み方法】

領収書をお送りする関係から申込書をお送りいただき下記にお振込みください。

- ゆうちょ銀行から振込  
記号番号 00220-6-102971  
ザイ) カナガワイキキシミンキン
- ゆうちょ銀行以外から振り込み  
ゆうちょ銀行 ○二九店(ゼロニキュウ店)  
当座 0102971 ザイ) カナガワイキキシミンキン



寄付申し込みフォーム



発行：公益財団法人 かながわ生き生き市民基金

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-2-15 パレアナビル6階

Tel：045-620-9044 Fax：045-620-9045

Mail：info@lively-citizens-fund.org

URL：http://www.lively-fund.sakura.ne.jp

発行日：2024年12月1日